

ブドウ：うどんこ病 (Powdery mildew)

Uncinula necator



果粒に発生した様子

発生生態

病原菌は芽のりん片内で越冬します。気温が高くなり、芽が膨らんでくると伝染源となり、ブドウのあらゆる部位に感染します。うどんこ病の名称どおり、発生初期は白いうどんこ状の病斑が見られます。

品種による発病の差が明確で、マスカットなどの欧州系品種は発病が多くなります。

防除対策

湿度が高いと発生が助長されるので、枝の間隔を十分に取るようにせん定し、風通しや日当たりを良くすることが大切です。また、園の排水性を改善することも有効です。

薬剤防除は発生初期に行うと効果的です。